

## 公表

## 事業所における自己評価結果

事業所名	ほのりこ					公表日 2025 年 3 月 25 日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	80%		学習スペースと活動スペースを確保し、目的に応じて居場所を確保できるようにしています。	今後も更に使いやすいレイアウトを必要に応じて検討し、取り入れていきます。	
	2 利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	100%		指定基準通りに配置しています。	指定基準通りに配置しています。	
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	100%		動線を考えて荷物置きの棚を配置したり、当日の活動予定を視覚化できるようホワイトボード掲示しています。	ネームタグやカゴなどを取り入れることで、さらに自分で持ち物を管理しやすいようにできると思います。検討していきます。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	80%	20%	学習スペースは集中できるように壁に向けて設置し、フレースペースは子どもたちがのびのび活動できるよう、広く取れるようレイアウトしています。毎日清掃を徹底し、清潔な空間を心がけています。	今後も継続していきます。	
	5 必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	60%	40%	完全個室ではないものの、隣接する部屋で他の子どもたちから距離を置いて過ごせる場所があります。	今後も継続していきます。	
業務改善	6 業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	20%	80%	月1回の全体職員ミーティングや日々の申し送りなどで問題点や改善点を共有し、業務改善に努めています。	非常に勤勉に周知できておりませんでした。今後しっかりと共有していきます。	
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%		今回、初めての保護者アンケートでした。	今後も貴重なご意見をいただき、業務改善に努めたいと思います。	
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%		従業者向けのアンケートやストレスチェック等が行われています。	今後も職員が気軽に意見できる風通しの良い職場環境であります。	
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		40%	外部の専門職の方からアドバイスをいただき、改善につなげることができます。「評価」は今のところしていただきていません。	検討していきます。	
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	100%		研修会への参加、オンラインでの動画研修を活用しています。	今後も積極的に受講する機会を設け、資質向上に努めています。	
適	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	100%		毎月月間プログラムを作成し、ご家庭にお配りしています。	今後も継続していきます。	
	12 個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画(放課後等デイサービス計画)を作成しているか。	60%		半年に1度モニタリングを実施、アセスメントを行い、ニーズや課題を確認したうえで個別支援計画を作成しています。	今後も継続していきます。	
	13 児童発達支援計画(放課後等デイサービス計画)を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	100%		計画作成にあたっては支援スタッフの意見を取り入れ、おこさまの最善の利益を考慮した計画を作成しています。	今後も継続していきます。	
	14 児童発達支援計画(放課後等デイサービス計画)が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	80%		個々の特性を理解し、個別支援計画に基づいた支援を行っています。	ミーティングの時間を確保し、共通理解のもと支援が行われるよう今後も継続してまいります。	
	15 子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。		80%	発達検査の結果などを保護者からいただき支援の参考にしています。気になる行動は日々の支援記録に記録し観察しています。	スタッフへの周知を進めてまいります。	
	16 児童発達支援計画(放課後等デイサービス計画)には、児童発達支援(放課後等デイサービス)ガイドラインの「児童発達支援(放課後等デイサービス)の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。		80%	昨年より「本人支援」「家族支援」「移行支援」を設定し、具体的な支援内容を設定しています。	今後、順次進めてまいります。	

切 な 支 援 の 提 供	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	100%		すべての支援員が得意分野を活かし、様々な体験ができるようにプログラムを考えています。	今後も継続していきます。
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100%		その日に利用するお子さまの特性や好みを考慮し工夫をしています。	今後もお子さまの発達に応じた楽しいプログラムを考えています。
	19 こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）を作成し、支援が行われているか。	60%		個別活動と集団活動を5領域との関連性も考えながら計画を作成し、支援を行っています。	今後も継続していきます。
	20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	80%	20%	支援開始前にショートミーティングを行い活動内容や注意点を確認しています。	毎日はできていないのが現状です。早急に対策を講じ、毎日のショートミーティングの時間確保に努めます。
	21 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	20%	80%	送迎終了後、その場にいるスタッフで共有することが多いです。その場にいないスタッフには後日申し送りをしています。	送迎から戻る時間がバラバラで打ち合わせができずに終わる日が多いのが現状です。早急に対策を考えます。
	22 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100%		支援経過記録や業務日報を正確に記録し、度々計画に沿った支援になっているかを確認しています。	今後も継続していきます。
	23 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	80%		半年に一度保護者様と面談（モニタリング）を行い、支援計画の見直しを行っています。	お子さまに気になることや変化があった場合は、その都度モニタリングや支援計画の見直しを行います。
	24 <u>【放デイのみ】</u> 放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	80%		集団活動以外に自由時間にはお子様が興味のあることを楽しめるようにしています。学期休暇にはおでかけや夏まつりなど、放デイ以外の方と交流できる機会を作るようにしています。	今後も継続していきます。
	25 <u>【放デイのみ】</u> こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	100%		宿題は〇時から始める、など自身で決めたときはそれを尊重し、実際に実行する力を育てるなどを大切に考え、支援を行っています。	今後も継続していきます。
	26 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	60%		児発管およびその子によく接している支援員が参加します。	今後も継続していきます。
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	27 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。			関係機関・学校と連携し、必要に応じて支援会議等を行う体制を整えています。	
	28 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパー・バイズや助言等を受ける機会を設けているか。			モニタリングの際、助言をいただくことがあります。	
	29 保育所や認定こども園、幼稚園等、または放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。		100%	活動の機会を設けることは今のところ積極的には考えておりません。	ご要望があれば検討いたします。
	30 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%		連絡帳や送迎時、できるだけその日の様子をお伝えするよう努めています。内容によってはお電話でお伝えしています。	今後も継続していきます。
	31 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		60%	保護者の方からのご相談には家族支援として個別に対応しています。	ご要望、ご意見を伺いながら検討していきたいと思います。
	32 <u>【児発事業所・児発センターのみ】</u> 併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。				
	33 <u>【児発事業所・児発センターのみ】</u> 就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。				
	34 <u>【児発センターのみ】</u> 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	35 <u>【児発センターのみ】</u> 質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	36 <u>【児発センターのみ】</u> （自立支援）協議会・こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				

保護者への説明等	37	【放ディのみ】学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	100%		送迎時、先生と情報共有を行っています。	今後も継続していきます。
	38	【放ディのみ】就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。			今のところ行つたことはありませんが、必要に応じて情報提供する体制はできています。	今後も継続していきます。
	39	【放ディのみ】学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	60%		今年度はまだ対象者がいませんが、情報提供する体制はできています。	今後も継続していきます。
	40	【放ディのみ】（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。			参加できておりません。	検討していきたいと思います。
	41	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	60%		契約時に重要事項説明書と共に利用者負担額について説明しております。支援プログラムについてはご見学時に説明しています。	今後も継続していきます。
	42	児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	100%		半年に1回、対面にて面談を行い、意向をお聞きしています。	今後も継続していきます。
	43	「児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	100%		計画書を提示し、内容を説明したうえで同意をいただいている。	今後も継続していきます。
	44	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100%		いつでも相談を受ける体制をとっています。できる限りの対応、助言を行っています。	今後も継続していきます。
	45	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	20%	60%	昨年は夏祭りでご家族を招待し、ご家族同士交流できる場を設けました。	今後も継続していきます。
	46	こどもや保護者からの相談や苦情、申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や苦情、申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	80%		いつでも相談を受ける体制をとっています。できる限り迅速な対応を心がけています。	今後も継続していきます。
非常時等の	47	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	100%		インスタグラムにてお子様の活動の様子を発信しています。	今後も継続していきます。
	48	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%		個人情報ファイル、支援記録等は鍵付きのキャビネットに保管し、情報流出がないようにしています。インスタグラムでの写真掲載については個人を特定できないよう配慮しています。	今後も継続していきます。
	49	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100%		連絡帳やお手紙でお知らせするほか、書面での理解が困難な場合は直接対面で説明できるようにしています。	今後も継続していきます。
	50	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		60%	実施しておりません。	ご要望があれば検討いたします。
	51	【放ディのみ】家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100%		いつでも相談を受ける体制をとっています。できる限りの対応、助言を行っています。	今後も継続していきます。
	52	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	40%	40%	非常災害緊急時の対応について、年1回内容を見直し、各ご家庭に書面を配布しています。また、消防計画に基づいた防災訓練を年2回実施しています。	マニュアルについて全スタッフへの周知ができておりませんでした。早急に対応いたします。
	53	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	40%	40%	BCPを策定し、定期的に見直しています。消防訓練ではBCPをもとにした設定で避難等の訓練を行っています。	BCPについて全スタッフへの周知ができておりませんでした。早急に対応いたします。
	54	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	60%	40%	初回契約時、その後は半年ごとのモニタリング時に状況を確認しています。	今後も継続していきます。
	55	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	60%		配慮が必要な場合は、保護者からの指示に対応しています。おやつを準備する際、アレルギー対象の食材が入っていないか確認しています。	今後も保護者との連絡を密にし、最新の注意を払い対応してまいります。
	56	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	40%	40%	安全計画に沿って研修や訓練を行い、安全管理をしたうえで支援を行っています。	安全計画について全スタッフへの周知ができておりませんでした。早急に対応いたします。

対応	57	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	40%	40%	ほのりご利用時の緊急時の対応について年1回ご家庭に書面を配布しています。	今後も継続していきます。
	58	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	60%	40%	何かあったときには記録に残し、社内ミーティングで報告。今後の対策も含めて話し合い、共有しています。	今後も継続していきます。
	59	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	60%		定期的に研修を受け、常に資質の向上を図り、適切な支援を行えるよう努めています。	今後も継続していきます。
	60	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	40%		現在身体拘束を必要とするお子さんはいませんが、安全確保のためにどうしても必要な場合は、契約時に保護者に説明し、許可を得るようにしています。	今後も継続していきます。